かすかべ ウォーク

7・産直の里ウォーク

どこか懐かしい田園風景が広がり、コースの途中には庭先で採れたての野菜や果物が売られていたり、収穫体験ができる農園があったりします。訪れる季節によって様々な顔を見せてくれる、産直の里・内牧を歩いてみませんか。

1 現代俳句を代表する俳人 加藤楸邨の句碑

加藤楸邨は春日部高等学校（旧制粕壁中学校）に昭和 4 年（1929）から 8 年間在職しました。この間に同僚の勧めで俳句の道に入り、水原秋櫻子（みずはらしゅうおうし）に師事。校内の地域開放広場には山梨県小淵沢町から移された夫婦句碑を含め、2 基の句碑があります。

校内には彫刻も

2 緑道の下に古隅田川の流れ 古隅田川緑道

休憩スポット

かつての古隅田川の流れの上に、整備された緑道です。この下には、約5,000トンの水を蓄えることができるようになっています。

3 どこか懐かしい田園風景 内牧黒沼緑道

4 水と緑に恵まれた道 内牧サイクリング兼遊歩道

緑豊かな内牧の自然を満喫できるサイクリング兼遊歩道です。
※自転車・歩行者専用の道路ではありません

5 楽しみ方盛りだくさん 内牧公園

休憩スポット

市外からも多くの人が訪れる人気スポットです。お花見やピクニック、歴史散策など色々な楽しみ方があります。

アスレチック広場

公園には 15 種類もの遊具があるアスレチック広場のほか、健康づくりのための林間アスレチックもあります。

春先には 300 本を越える桜の花が咲きそろいます。

お花見広場

市内で一番古いイエの跡

縄文時代のイエの再現

産直の里 内牧

甘くておいしいと評判の産直の里・内牧の甘熟梨。ナシをはじめ、ブドウや柿などの収穫体験も楽しめます。

足を伸ばして

内牧黒沼公園のハス

約5,700 ㎡もの広い休耕田が白や桃色のハスの花で埋め尽くされます。見ごろは 6 月下旬から 7 月上旬にかけての朝 4 時から 12 時ころです。

6 屋根の上に、トラ！？ 楽応寺（らくおうじ）

地域の方から「薬師(やくし)さま」と呼ばれている楽応寺薬師堂。12 年に 1 度、寅の年に本尊の薬師像の御開帳があります。

7 珍しい名前の 鷲（わし）香取神社

仁和年中（885）下総国一宮香取神社の神馬が逸走してきてこの地に来たことをきっかけに、香取神社を勧請し、内牧村の鎮守としました。また、内牧村は、源頼朝の崇敬が厚かった鷲宮神社を総鎮守とする太田庄（おおたのしょう）に属し、毎年、鷲宮神社の神輿渡御の休息地であったことから、建久 2 年（1191）ころ、分霊を祀ったと言われています。二つの神社の名前がついているとても珍しい神社です。

北春日部駅へ →

鎌倉街道

鎌倉街道とは、鎌倉時代に武士が鎌倉へ向かう際に利用した街道です。奥州から鎌倉へ向かう道として、利根川の渡し場を渡り、百間村（現在の宮代町）の西光院前へ出て、鷲香取神社、岩槻・慈恩寺の前を通ったとされています。また、鷲香取神社には、源頼朝から鷲宮神社に奉納された神馬が休んだとされる伝説も残されています。

8 宮内省に納められていた幻の食材 梅田ごぼうの碑

「梅田ごぼう」は、江戸時代から昭和初期にかけて宮内省へ納められていました。現在は栽培されなくなり、幻のごぼうとなってしまいましたが、梅田女體神社前には「梅田牛蒡御買上記念」の碑が建っています。

境内にはこんなクイズも

9 徳川二代将軍秀忠ゆかりの 梅田女體神社（うめだにょたいじんじゃ）

後醍醐天皇の延喜元年（901）に古隅田川北岸に造立とされ、境内には様々な神様が祀られています。また元和 8 年（1622）には、徳川二代将軍秀忠から日光参拝のときに沿道付近の由緒ある神社として金千疋の寄付があったといわれています。

春日部駅東口へ →

バス停　駐車場　トイレ　赤ちゃんの駅

	八木崎駅
110m	① 加藤楸邨の句碑
690m	② 古隅田川緑道
950m	古隅田川
580m	③ 内牧黒沼緑道
380m	④ 内牧サイクリング兼遊歩道
330m	⑤ 内牧公園
360m	⑥ 楽応寺
770m	⑦ 鷲香取神社
1,530m	北春日部駅
630m	⑧ 梅田ごぼうの碑
	⑨ 梅田女體神社
1,090m	春日部駅東口

距離と所要時間：春日部駅東口まで（約 7.4 k m／約 1 時間 51 分）　消費カロリーの目安：男性 377kcal　女性 311kcal
北春日部駅まで（約 5.7 k m／約 1 時間 25 分）　消費カロリーの目安：男性 290kcal　女性 239kcal